



(様式第1号) (第4条関係)

景観計画区域内における行為の届出書

R5年 5月 15日

長野県知事 殿

住 所 長野県小県郡青木村夫神 332-1
 電話番号 0268-71-6750
 氏 名 株式会社 小林カンパニー
 代表取締役 小林桂三

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所	塩尻市町 大字旧塩尻字東山 1501-1, 1501-2, 郡 村 1500-1, 1500-3, 1500-4, 1500-5		
	景観育成重点地域内()・景観育成特定地区()・その他()		
行為の種類	建築物	用 途	
		区 分	新築・増築・改築・移転 外観の変更(修繕・模様替・色彩変更)
		規 模	建 築 面 積 m ²
			延 ベ 床 面 積 m ²
			高 さ m
		規 模	外 観 変 更 面 積 m ²
			特定外観意匠面積 m ²
工 作 物		種類・用途	太陽光発電設備
		区 分	新設・増築・改築・移転 外観の変更(修繕・模様替・色彩変更)
		規 模	築 造 面 積 3580.39 m ²
			高 さ 1.215m
			長 さ 32.022m
			特定外観意匠面積 m ²

	種類	法第16条第1項第3号・政令第4条第1号		
	目的			
土地の形質の 変更	面積		m ²	
	高さ	法面又は擁壁の高さ及び長さ	m	長さ
屋外における 物件の堆積	種類			
	面積		m ²	
	高さ		m	
行為の期間	着手予定日	R5年7月3日	完了予定日	R5年12月29日
設計又は施 工方法	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲との整合性に配慮し、土を掘削せず、杭打ちにより地形に合わせたパネル設置を行う。(盛り土及び切土はなし) ・大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。 ・照明設備設置は無し。 			
	景観育成のために特に配慮した事項	フェンスは自然の色に近いものを選定し、支柱を緑色とした。メッッシュ部分は周囲の景観となじみ目立ちにくいう、細い鉄線とした。		

(備考) 1 行為の種類欄は、該当する部分のみに記入してください。

2 次の書面を添付してください。

ア 設計者等の住所、氏名及び電話番号を記載した書面

イ 行為に対する市町村の意見を記載した書面

様式第1号添付用

設計者等		住 所	〒386-0012 長野県上田市中央 2-10-15 千曲錦ビル TEL0268-71-6570	
		氏 名 (代理者)	株式会社小林カンパニー 担当 柳澤 岳	
※ 市 町 村 記 入 欄	育成に関する計画等	地域における景観	名 称	地域区分：山地・高原地域
			概 要	
			景観上支障ありません。	
行 為 に 対 す る 意 見				

(注意) ※印欄は申請者が記入する必要はありません。



付近見取図

施設マップ

中心地 | 塩尻市旧塩尻 付近



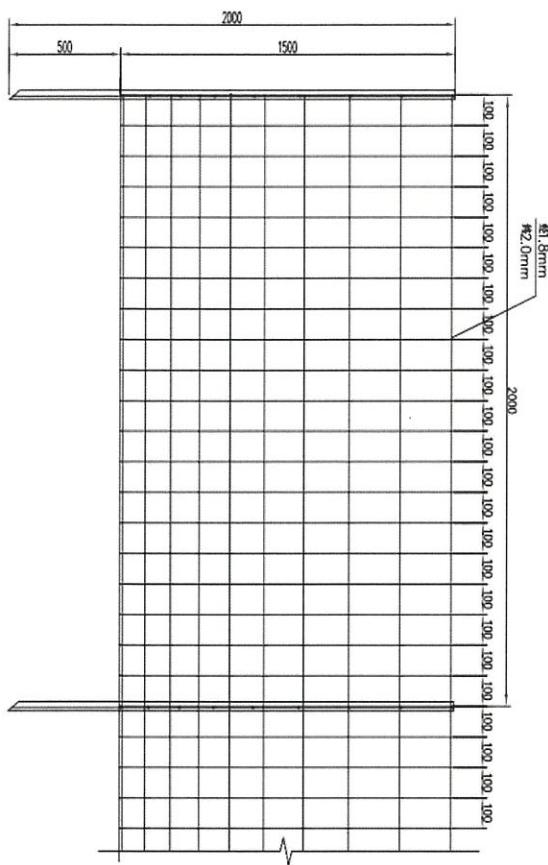
印刷日時:2022/11/08 14:08:38

現況写真

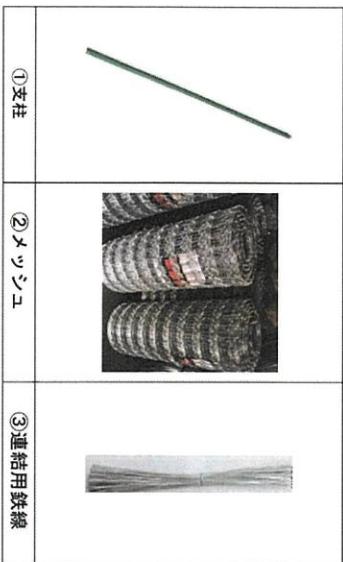


フェンス

■ 製品仕様



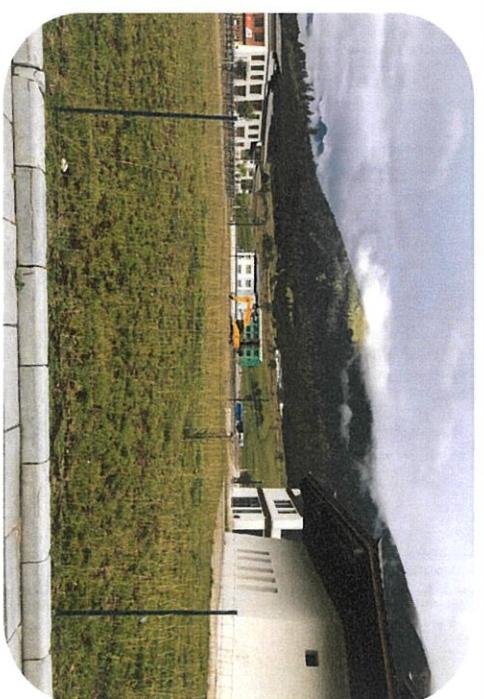
部品外観



ロールフェンス	
幅	2m
高さ	0.8~1.8m
カラー	メッキ色
表面処理	亜鉛メッキ

マニセル値：N7（メッシュ）
：5.4G 4.0/7.4
(支柱)

■ 製品写真



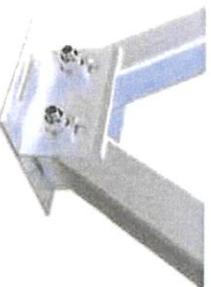
架台 マンサル値 N9.5

標準タイプ
標準タイプは一般的な風速と積雪地域に適応するタイプです。
様々な種類の基礎に対応し、取付も簡単です。

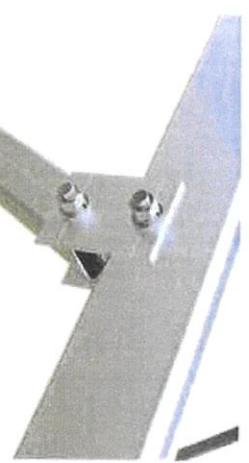
設置例



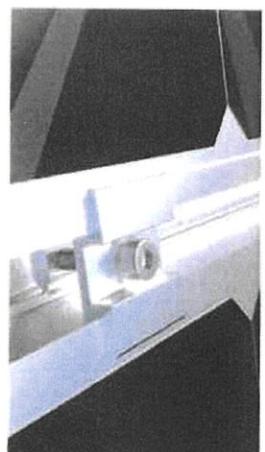
接合部



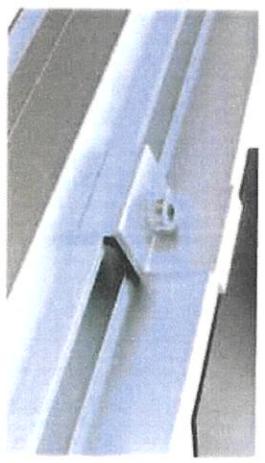
接合部



接合部



押さえ金具



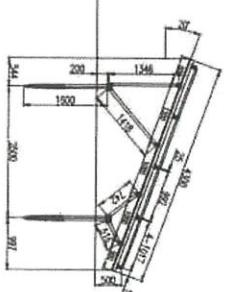
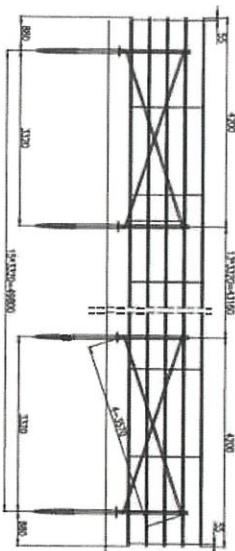
H道結合金具

特長	
①全て部品は高強度のアルミ材とステンレス材を使用しているので、高強度で耐食性にも優れています。	
②ボルト接合設計となっており事前に工場で穴あけ加工済みです。施工現場では、穴あけ、溶接などの作業が不要で、施工時間も大幅に短縮出来ます。	
③接合部分は微調整可能な構造としており、施工性の向上を実現します。	

設置条件

設置条件	
耐風圧	設計用基準風速 V_0 (m/s) 38
用途係数	$I = 1.0$
耐積雪	最大積雪深さ Z_s (cm)以下 60
雪の平均単位荷重 P (N/m ² ・cm)	20
設計用水平震度	$K_s = 1.0$
地震域係数	$Z = 1.0$
用途係数	$I = 1.0$

設計例



14*2278*13*10=32022
9*3300*2000=31700

161

10

161

3000

6050

27

1134

3150

5.1161

123

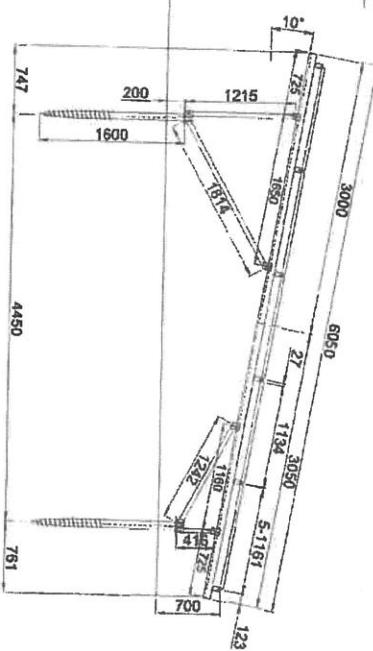
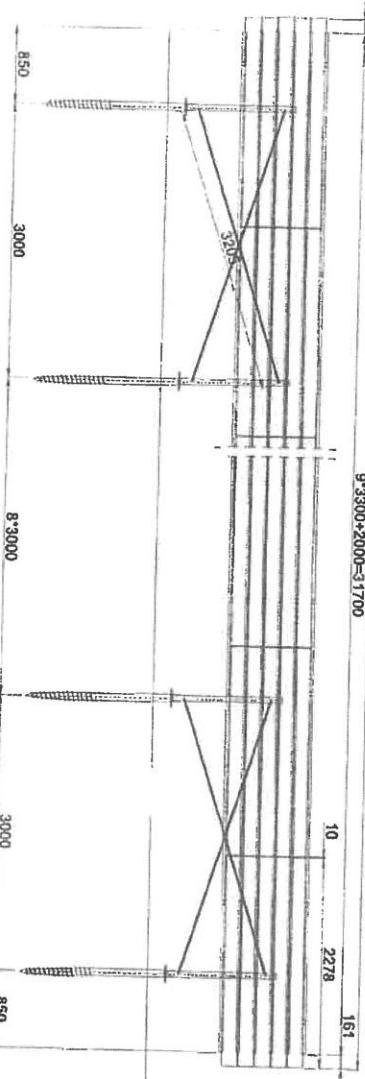
133

700

415

75

2278



工事件名	注:
番号	粘性土、N≥5
日付	
バージョン	1.0
単位	mm
角法	◎



ナントン・リード・ソーラー・テクノロジー株式会社

製品一覧

すべての製品から選ぶ



製品カテゴリーから選ぶ

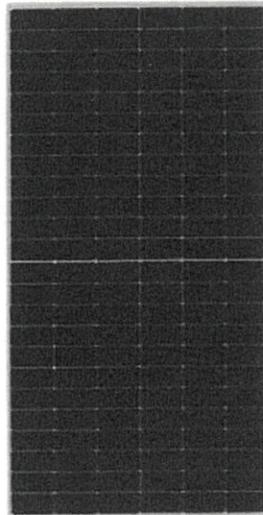
モジュール	+
パワーコンディショナ	+
接続箱	+
蓄電池	+
ハイブリッド蓄電システム	+
監視・モニタリングシステム	+
架台	+
PV ケーブル	+
その他周辺機器	+

メーカーから選ぶ

AXITEC(アキシテック)	+
YINGLI	+
栄信	+
HTソーラー	+
ABB	+
S-Energy	+
SMA	+
NTTスマイルエナジー	+

特徴

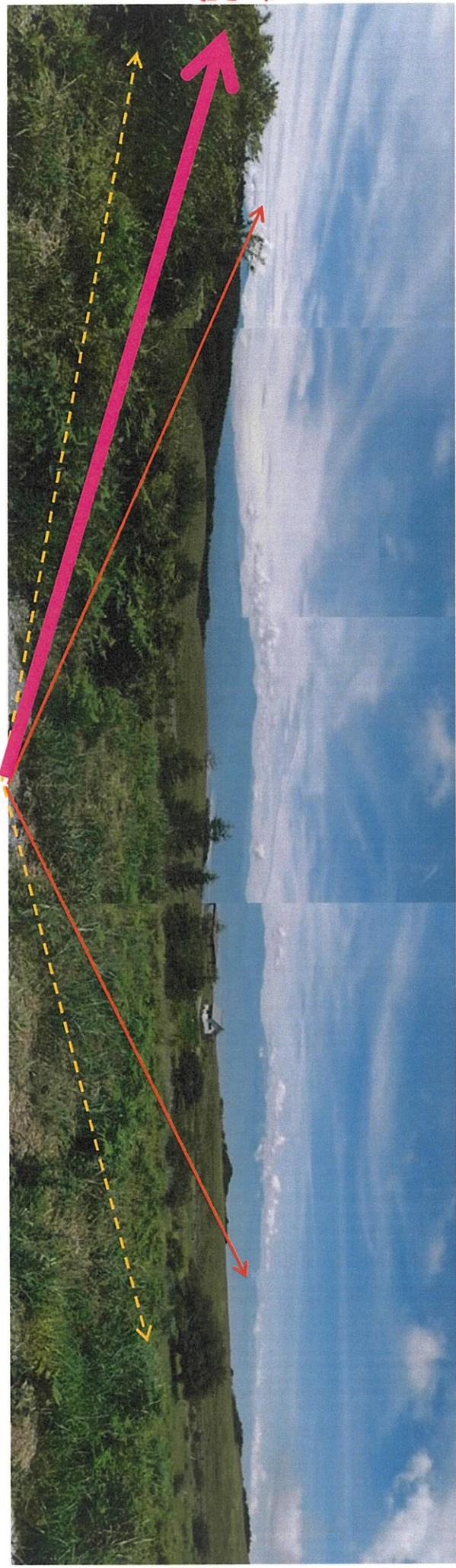
NTT西日本・NTTコムウェア	+	モジュール仕様 品番：JKM550M-72HL4-V-J
オムロン	+	定格出力：550W 開放電圧：49.62V
カナディアン	+	短絡電流：14.03A 最大出力動作電圧：40.90V
河村電気	+	最大出力動作電流：13.45A
木谷電器	+	最大システム電圧：1500V 外形寸法(W×D×H (mm))：2278×1134×35
Qセルズ	+	質量：28.0kg
京セラ	+	※仕様は製品改善等の理由により、変更になる場合がございます。 また、発注時期・在庫状況により納品するモジュールの寸法、重量が異なる可能性がございます。
グレースソーラー	+	取り扱い製品の仕様詳細は必ず事前にお問い合わせください。 ※出荷可能時期については、事前に問い合わせください。
SUNGROW	+	



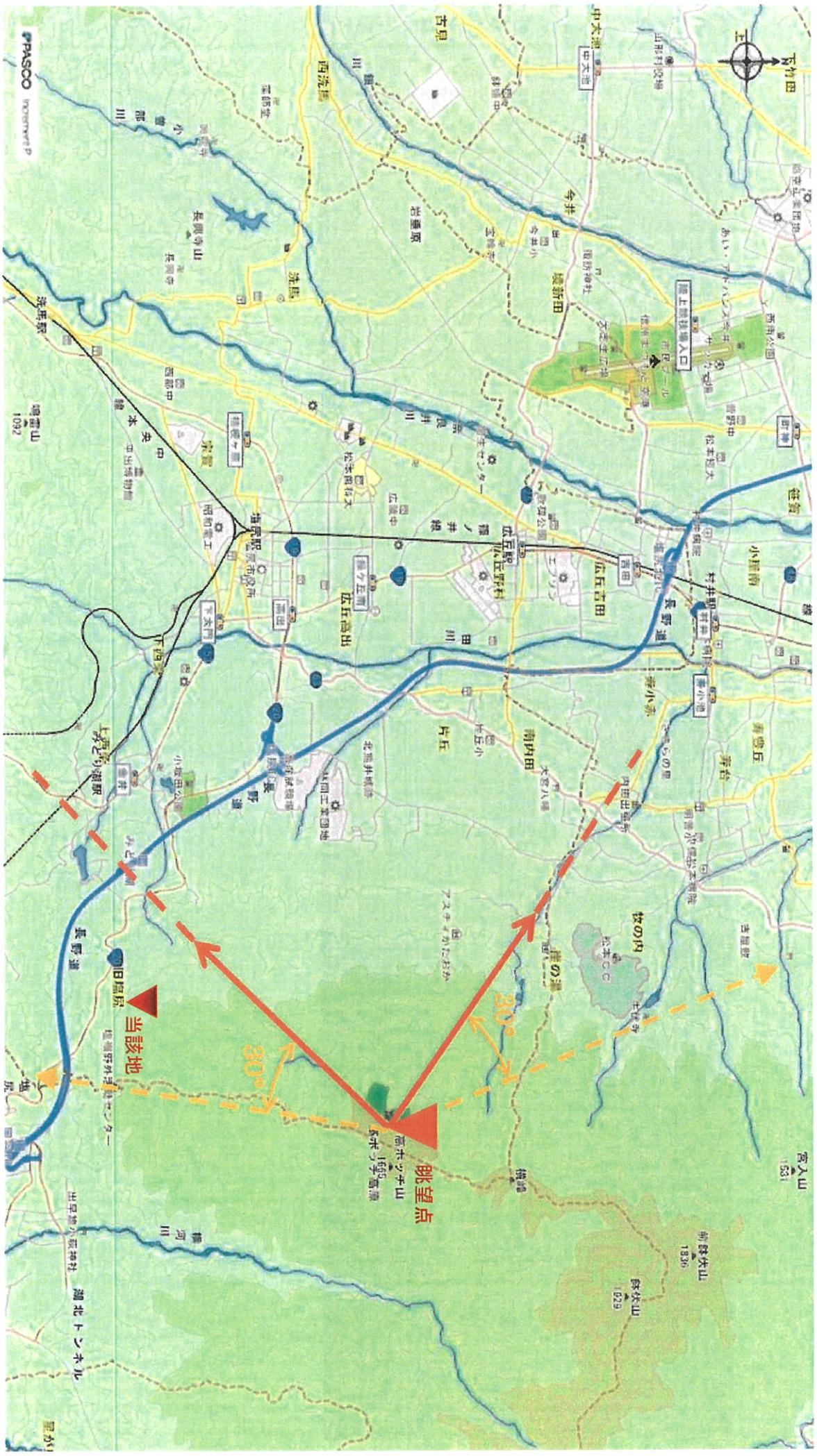
眺望点

指定眺望点である高ボツチ高原 3大標高展望広場からは、地形(山)により遮蔽され当該地は見えない。

行為地



眺望点等位置図





■	フェンス
■	トレンチ
■	調整池
←	雨水の流れ
□	

工事名	小林増澤発電所設置工事	
容 量	出力容量 499.00kw	モジュール容量 762.30kw
モジュール	JKM550M-72HL4-V (2278*1134)	1386枚
パワーコンディショナー	SUN2000-50KTL-JP0	10台
架 台	Nantong Lead Solar Technology Co., LTD.	15度
雨水対策	図面記載の通り	
道路境界線	高ボッチ線 幅員4m 位置:東北	
緑地帯	天然更新	
高低差	6m	道路境界線からの距離 5m
敷地内	大径木、良好な樹木、河川、水辺:無し	

作成日	2023/04/05	設置場所
2回目		
3回目		
		発注者

設計者 株式会社グリーンプラン・フォー 依田

備 考 パネル寸法 2278*1134
パネル配置寸法3580.39m²(2278*1134*1368枚)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	(株)小林カンパニー 柳澤	
	住所	長野県上田市中央 2-10-15	
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	東山地区 全戸		
上記を説明対象とした理由	行為地が東山地区であるため		
住民説明等の方法	住民説明会の開催		
実施日時	令和5年 4月 27日(木) 19時～ 19時30分		
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	松尾区長、野崎副区長他 5名 計 7名		
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)			
番号	意見	配慮・見解	
1	北側道路沿いの緑地帯には記を植えますか。	以前、冬場の凍結防止のご要望があったため、木を植えるということは考えておりません。	
2			
3			
4			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

(参考様式第3号)

太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目	配慮事項	配慮した内容	
太陽電池モジュール	全体	(1) 積線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	土を掘削せず、地形に合わせたパネル設置を行い、必要以上の伐採をせず、最小限の範囲にとどめた。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成（シミュレーション）等の実施を検討する。	周囲が山に囲まれているため高ボッチ高原など公共的な眺望点からの景観への影響は少ない。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要道路に隣接している境界において5m以上のセットバックをして、通行者から見えにくいよう配慮した。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう離隔などを最小限に抑えて接地面積を極力抑えた。
	形態・意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	ハーフ設置計画において同じ方角にそろえ、東西の列を合わせ、規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	主要道路より低い位置に設置するため裏面は見えにくい。冬場の凍結を心配する住民の方の意見もあるため、植林はしないが、天然更新とする。

項目	配慮事項		配慮した内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	アルミフレームを使用 メーカーの仕様として同系色にすることが難しかった。
付属設備		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。